

総合的な学習の時間で育つ力は？

総合的な学習の時間で行う教科横断的な学びは、**実社会で役立つ汎用的な能力**を育てていく上で大きな役割を果たします。学習を充実させるために、以下の三つの点を確認してみましょう。これから始まる総合的な学習の時間での学びが充実し、教師が見通しを持って指導に当たることができると思います。

① 総合的な学習の時間の**目標**

② 育てようとする**資質や能力及び態度**

③ **内容**



学年のスタートに当たり、**何から始めればいいのか？**

○ まずは、**目指す目標**の確認や設定が大切です。

学習指導要領に定められている第1の目標¹を踏まえ、**各学校で目標と内容を定める**ようになっています。目標は既に定められていると思います。学習をスタートさせる前に御確認ください。目標が明確になれば、評価の場面や方法が明確になります。

○ 次に、**児童・生徒に付けたい力**を明確にしましょう。

児童・生徒が学習活動を通して、どのような**資質・能力及び態度**が育つのかを明確にし、指導しましょう。



育てようとする**資質や能力及び態度**って？

1 学習指導要領解説 P10を参照ください。

育てようとする**資質や能力及び態度**は以下の三つの視点が例示されています。

- **学習方法に関すること** (例えば、情報を分析する力、課題を発見する力等)
- **自分自身に関すること** (例えば、自らの行為について意思決定する力等)
- **他者や社会とのかかわりに関すること** (例えば、他者と協同して課題を解決する力等)



※ これらの例示は、これからの社会を生き抜く子供たちにとって必要な力であり、O E C Dが示した主要能力とも深く関連しています。



目標の実現にふさわしい**学習課題**は？

○ **決まった解がなく、児童・生徒にとって納得できる解、最適な解を協同的に**探っていけるような課題が求められます。

右の図のように、学習過程を探究的にしていくことが求められています。

探究的の過程の連続

